

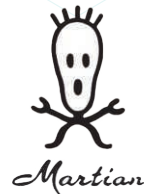
株主通信

第101期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

佐藤商事株式会社

証券コード：8065



株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第101期第2四半期の業績及び当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

2023年12月



代表取締役会長
村田 和夫

代表取締役社長
野澤 哲夫

当第2四半期の概況（連結）

売上高

1,355 億円

前年同期比0.6%増

営業利益

28 億円

前年同期比2.2%増

経常利益

31 億円

前年同期比3.1%減

親会社株主に帰属する
四半期純利益

27 億円

前年同期比30.3%増

配当の基本方針

連結みなし当期利益*の30%以上、
かつ下限は1株あたり年間55円

中間配当金
1株あたり
32円

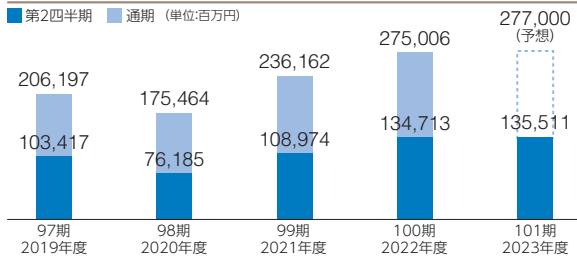
期末配当予想
1株あたり
33円

年間配当予想
1株あたり
65円

*連結みなし当期利益：連結経常利益×(1-実効税率)

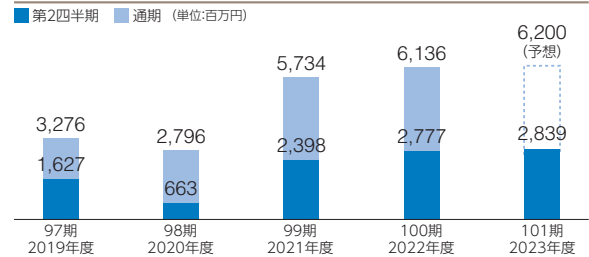


売上高 **135,511**百万円(前年同期比0.6% \uparrow)

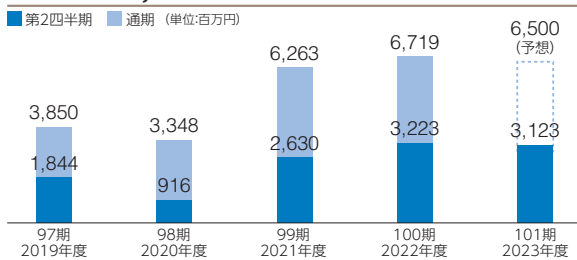


※第99期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりますので、第99期以降の売上高につきましては当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

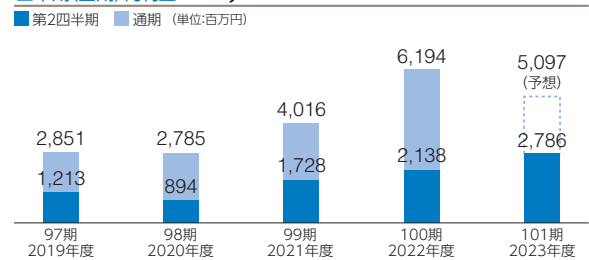
営業利益 **2,839**百万円(前年同期比2.2% \uparrow)



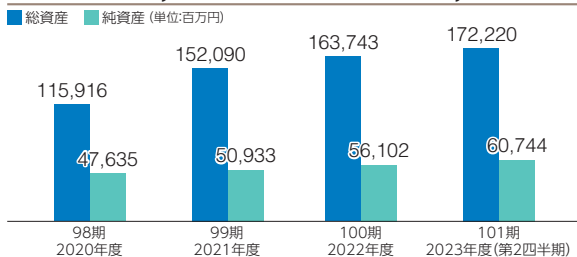
経常利益 **3,123**百万円(前年同期比3.1% \downarrow)



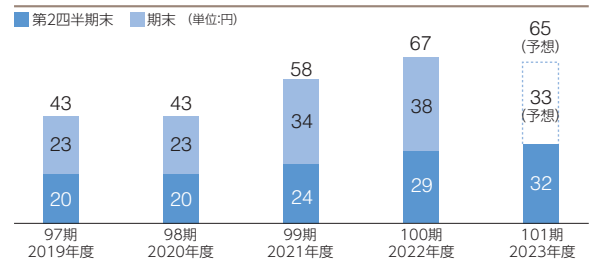
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 **2,786**百万円(前年同期比30.3% \uparrow)



総資産 **172,220**百万円 純資産 **60,744**百万円



中間配当金 **32**円



※上記の予想数値は、2023年11月7日公表の2023年第2四半期決算短信に基づき作成したものです。実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。



連結決算の
ポイント

- 鋼材価格の上昇による影響等により、売上高・営業利益は増収増益
- 第三次中期経営計画で掲げる資本政策に則り、資産の入替等を実施しながら積極的な投資活動を推進
投資有価証券を売却したこと等による特別利益計上で純利益は30%増得られた資金はグループ企業の新工場建設費に充当

当社グループは、第三次中期経営計画で掲げた経営目標の進捗状況を管理しながら各重点課題に取り組み、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は1,355億1千1百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は28億3千9百万円(前年同期比2.2%増)、経常利益は31億2千3百万円(前年同期比3.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億8千6百万円(前年同期比30.3%増)となりました。

今次の中間配当は、配当の基本方針(→P1)の下、当

社グループを取り巻く経済環境、当第2四半期連結累計期間の業績などを総合的に勘案し1株につき32円とさせていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

当社グループはさらなる業務改善を図り、業績向上、設備投資の拡充に加え、内部統制の充実による経営の健全化に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

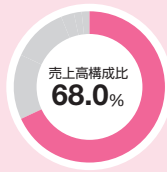


鉄鋼事業

売上高(当第2四半期)

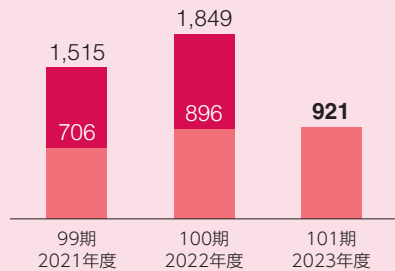
921億円

(前年同期比2.9%増)



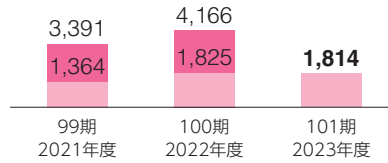
売上高の推移(単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



セグメント利益の推移(単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



事業概況

当事業においては、表面処理鋼板、冷延鋼板、酸洗鋼板、棒鋼、条鋼などの普通鋼、構造用炭素鋼、構造用合金鋼、工具鋼などの特殊鋼及び建築用の資材、機材を主に自動車、建産機、建築、電機、造船、金型などの業界に販売しております。

また、各事業所は倉庫を所有し、切断などの一次加工も行っております。福島、栃木、神奈川にはコイルセンターを有しております。

当第2四半期の概況

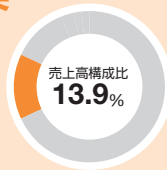
鋼材価格の上昇による影響等により、売上高は921億7千8百万円(前年同期比2.9%増)となりましたが、仕入コストや販管費の増加等により、営業利益は18億1千4百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

非鉄金属事業

売上高(当第2四半期)

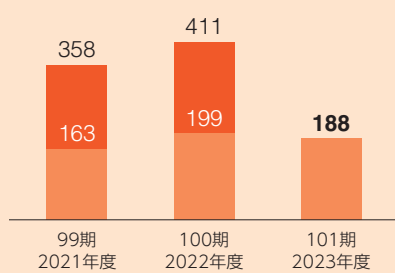
188億円

(前年同期比5.3%減)



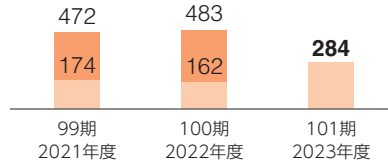
売上高の推移(単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



セグメント利益の推移(単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



事業概況

当事業においては、アルミニウム、銅、亜鉛、鉛、メタルシリコンなどの素材及び加工品を、主に自動車、機械器具製造、ダイキャスト製造などの業界に販売しております。また、海外で調達した地金、自動車部品などを国内外に販売しております。

当第2四半期の概況

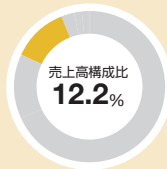
地金相場の変動による価格影響等により、売上高は188億9千万円(前年同期比5.3%減)となりましたが、前期の商用車メーカーによるエンジン認証問題に伴う出荷停止が続いていた状況から、一部車種の生産が再開したこと等により、営業利益は2億8千4百万円(前年同期比75.3%増)となりました。

電子事業

売上高(当第2四半期)

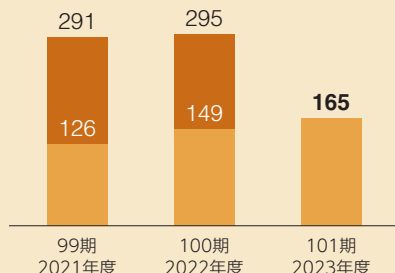
165億円

(前年同期比10.8%増)



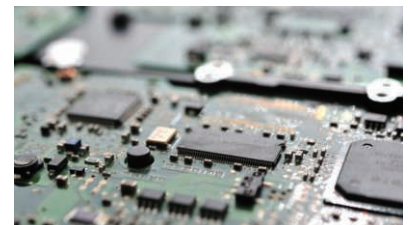
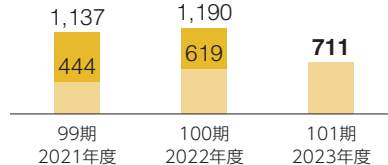
売上高の推移(単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



セグメント利益の推移(単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



事業概況

当事業においては、電子機器、電気製品及び車載機器に使用されるプリント配線基板用の積層板などの電子材料を、主に電子部品業界に販売しております。

当第2四半期の概況

主力のプリント配線基板用積層板の販売に加えて、液晶、半導体向け部材の輸出及び部品の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は165億9千3百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益は7億1千1百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

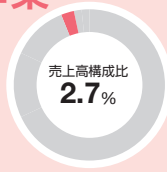


ライフ営業事業

売上高(当第2四半期)

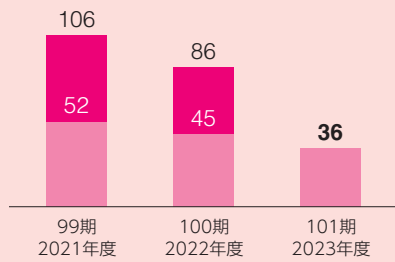
36億円

(前年同期比20.5%減)



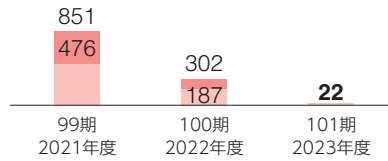
売上高の推移 (単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



セグメント利益の推移 (単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



事業概況

当事業においては、自社企画の金属洋食器・キッチン用品・家電製品・雑貨品を、主に百貨店、量販店、通信販売、ホテル及び飲食店などの業界に販売しております。加えて顧客オリジナルのOEM事業を推進しております。

当第2四半期の概況

前期に引き続き自社商品販売を推進しましたが、輸入品等の仕入コストが増加したこと等により、売上高は36億6百万円(前年同期比20.5%減)、営業利益は2千2百万円(前年同期比88.2%減)となりました。

機械・工具事業

売上高(当第2四半期)

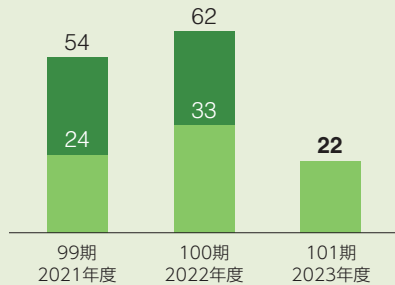
22億円

(前年同期比32.8%減)



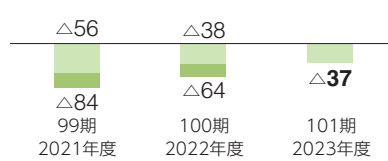
売上高の推移 (単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



セグメント利益の推移 (単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



事業概況

当事業においては、旋盤、フライス盤、研削盤、マシニングセンタなどの工作機械及び工場生産ライン一式、ならびに切削工具、作業工具などを自動車業界を主力に販売しております。

当第2四半期の概況

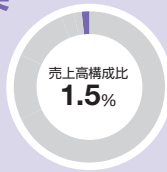
国内の拠点網を活用しながら、取引先への販売活動を積極的に推進しましたが、売上高は22億4千3百万円(前年同期比32.8%減)、営業損失は3千7百万円(前年同期は営業損失3千8百万円)となりました。

営業開発事業

売上高(当第2四半期)

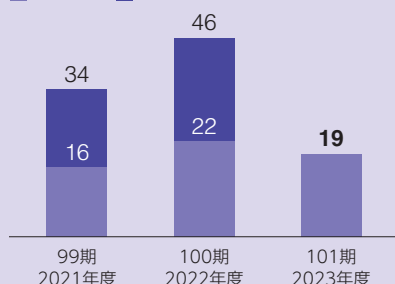
19億円

(前年同期比12.9%減)



売上高の推移 (単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



セグメント利益の推移 (単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



事業概況

当事業においては、次世代を視野に入れた商品の開発を行いながら、独自の技術を持つメーカーのクリーン、LED照明、空調やコンプレッサーなどの環境配慮型製品の販売をしております。また、農業用加温機の設置工事も請け負っております。

当第2四半期の概況

前期に大型物件があった影響で売上高は19億9千9百万円(前年同期比12.9%減)となりましたが、原価低減に努めながら主力の商材及び工事案件を適宜受注したこと等により、営業利益は4千5百万円(前年同期比107.3%増)となりました。

特集 1

佐藤商事グループ 国内関係会社

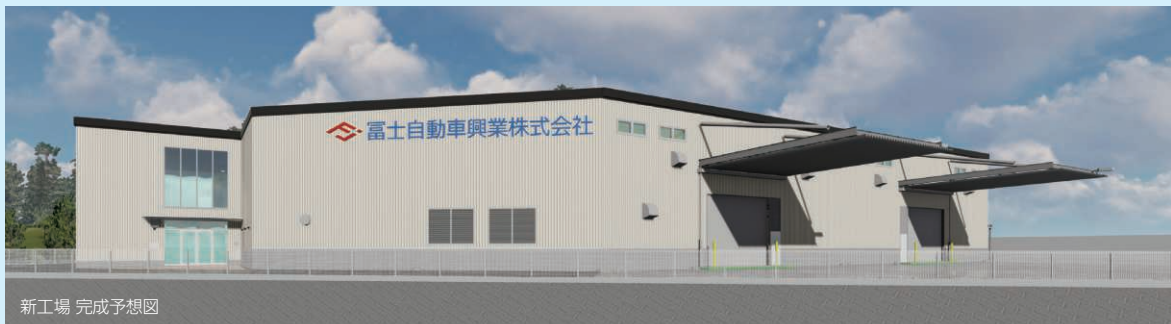
当社グループの国内関係会社は10社。鉄鋼事業を中心に、様々な業種の企業が存在します。

全国に広がる当社拠点と国内各関係会社のネットワークを有効活用して、販売の効率化を図り、さらなる事業領域の拡大を推進してまいります。



富士自動車興業 新工場を建設中

連結子会社、富士自動車興業は、商用車向けステアリングアーム類、サスペンション、トランスミッション部品などを製造しています。このたび、新たな商用車部品の製造と業容拡大のため、新工場建設の運びとなりました。第2の拠点となる厚木工場は本年1月に着工し、現在建設中。来年2月に竣工、同年10月より稼働の予定です。今後も、当社グループのさらなる事業拡大を図ってまいります。



新工場 完成予想図

当社グループは、社員一人一人が高いモチベーションを持って働けるような職場・環境を整備し、多様な人材がそれぞれの能力を発揮できる会社を目指しております。

当社グループは「流通・サービスを通じて広く社会に貢献する」ことを経営の基本方針としております。

2023年度～2025年度における第三次中期経営計画において掲げている経営目標の一つに、「人的資本の活用と投資」を挙げております。

下記取り組みを実施し、「人材育成の強化」「労働環境のさらなる改善」「多様な人材活用」を推進してまいります。



●人的資本戦略の主な取り組みと施策

テーマ	取り組み	施策・目標
人材育成 	職種別/ 世代別教育の充実化	職種別教育 <ul style="list-style-type: none"> ● 役員研修 ● 管理職研修 ● 新任管理職研修 ● 営業総括研修 世代別教育 <ul style="list-style-type: none"> ● 入社時研修、入社後フォローアップ研修 ● 2年目社員フォローアップ研修 ● 中堅社員研修
	研修方法の多様化	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門家を社内へ招致しての研修 ● 社外セミナーへの参加 ● Eラーニング研修 ● OJT研修
	自己啓発・資格取得推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 資格取得に関する費用の補助制度 ● 資格取得に関する報奨金制度 ● 自己啓発に関する費用の補助制度
	海外トレーニー制度の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理部門の若手社員(1~2名)がローテーションを組んで海外現地法人で管理業務を経験(1年間)
労働環境改善 	柔軟な働き方に対応した労働環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 時短勤務、時差出勤等を活用した柔軟な働き方の実施 ● 男性労働者の育児休暇取得率向上
	従業員の健康/ 安全に関する意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康診断実施率 100%目標 ● 有給休暇5日以上取得率 100%目標 ● 人間ドック、ワクチン接種費用に対する一部補助制度 ● 専門部署、専門のアドバイザーによる工場・倉庫への定期巡回、指導 ● 工場倉庫の安全推進に特化した研修の実施
多様性・流動性 	国内外グループ全体における新卒/中途採用活動の促進	企業が安定的に事業を継続していくための新卒採用と、事業拡大、欠員補充のための即戦力の中途採用をバランスよく実施しています。
	女性管理職の活躍を見据えたカリキュラムの実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理職を目指す女性について一般職から総合職(地域総合職)へ職種転換を実施



トピックス

当社オリジナル商品のご案内

Topics



匠フライパンシリーズ

MAGMA PLATE

健康・美味しさにこだわる人が選ぶ
日本製・鉄フライパン

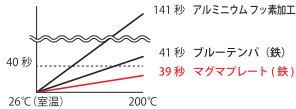
日本製の高品質鉄材使用
フライパンから手軽に鉄分摂取
強火でおいしく調理ができ、鉄ならではの耐久性

マグマプレート®

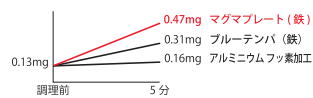
MAGMA PLATE

内側と外側の両面に細かな凹凸を付けた独自開発プレート。凹凸により表面積が広がるので、熱伝導が良くなり食材の芯まで一気に火を通し、食材の旨味を閉じ込めることができます。さらに、フライパンからの鉄分溶出により食材と一緒に鉄分摂取ができます。また、凹凸を付けた表面加工により、今までの鉄フライパンよりも油馴染みがよく、使っていくほどに焦げ付きにくくなります。

●加熱開始から200℃までに達する秒数



●5分加熱調理後の鉄分含有量(たまねぎ100gあたり)



フライパン

- 20cm 4,180円(税込)
- 24cm 4,730円(税込)
- 26cm 4,950円(税込)



天ぷら鍋

- 段付24cm 4,400円(税込)



炒め鍋

- 24cm 4,510円(税込)
- 28cm 4,730円(税込)
- 30cm 4,950円(税込)

※24cmの取っ手はフライパンと同じ形状になります。



玉子焼

- 小 3,300円(税込)
- 中 3,850円(税込)

PRESS GRILL

プレスグリル

プレスして短時間調理。開いて2面調理。
いろいろな使い方次第で料理の幅が広がります。

価格：13,200円(税込)
カラー：レッド



オリジナル
レシピ付き

ステーキ



串焼き



ライスバーガー



あんかけ焼きそば



2WAY GRILL

1way プレスして焼く

高い温度でしっかりプレスして焼くので、本格的な焼き具合で焼き目もしっかり付きます。両面で焼くので、食材をひっくり返す手間がありません。凹凸プレートを使用すると溝に余分な油が流れるので素材の旨味を閉じ込めて焼き上げてくれます。

2way 開いて焼く

180度開いてホットプレートとしても使えます。2面のプレートが使えるので、2種類のプレートを使って違う料理を楽しむこともできます。

リバーシブルプレート

フラットプレートと凹凸プレートの2種類のプレートが1枚に。2種類のプレートでステーキ、お好み焼き、フレンチトーストなど色々な調理が楽しめます。ボタン一つで簡単に付け替えや取り外しが可能です。プレートが本体から完全に外れるので、お手入れも簡単。

温度調節機能

LOW(保温約60℃)からHIGH(約210℃)の温度調節機能付き。調理中につまみを回して温度調節ができるので、お好みの焼き加減に調整が可能です。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2023年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2023年9月30日現在
資産の部		
流動資産	128,114	131,186
固定資産	35,628	41,033
有形固定資産	17,679	20,513
無形固定資産	177	177
投資その他の資産	17,771	20,343
資産合計	163,743	172,220
負債の部		
流動負債	91,927	95,339
固定負債	15,713	16,135
負債合計	107,641	111,475
純資産の部		
株主資本	48,315	50,348
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	838	818
利益剰余金	46,915	48,903
自己株式	△ 760	△ 696
その他の包括利益累計額	7,408	10,014
その他有価証券評価差額金	6,312	8,398
繰延ヘッジ損益	△ 6	△ 1
為替換算調整勘定	1,101	1,617
新株予約権	367	369
非支配株主持分	11	12
純資産合計	56,102	60,744
負債純資産合計	163,743	172,220

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日
売上高	134,713	135,511
売上原価	124,246	125,245
売上総利益	10,467	10,265
販売費及び一般管理費	7,689	7,425
営業利益	2,777	2,839
営業外収益	630	482
営業外費用	183	198
経常利益	3,223	3,123
特別利益	62	884
特別損失	11	31
税金等調整前四半期純利益	3,275	3,977
法人税、住民税及び事業税	1,061	1,121
法人税等調整額	74	67
非支配株主に帰属する 四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,138	2,786

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,847	5,626
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 100	△ 2,030
財務活動による キャッシュ・フロー	1,312	△ 2,764
現金及び現金同等物に 係る換算差額	177	107
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 456	938
現金及び現金同等物の 期首残高	2,875	3,286
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,418	4,224



会社概要 (2023年9月30日現在)

商号 佐藤商事株式会社
 本社 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
 丸の内トラストタワーN館16階
 TEL:03-5218-5311
 設立 1949年(昭和24年)2月5日
 資本金 13億2,136万8,450円
 従業員数 連結1,018名 単体668名
 ホームページアドレス
<https://www.satoshoji.co.jp/>

役員 (2023年9月30日現在)

取締役

代表取締役会長	村田 和夫
代表取締役社長	野澤 哲夫
取締役	田浦 義明
取締役	浦野 正美
取締役	須賀 和徳
取締役	伊藤 明彦
取締役(社外)	小谷 健
取締役(社外)	大栗 育夫
取締役(社外)	佐藤 元
取締役(社外) 常勤監査等委員	森 隆浩
取締役(社外) 監査等委員	原 嘉男
取締役(社外) 監査等委員	赤石 幹雄

※当社は取締役 小谷健氏、大栗育夫氏、佐藤元氏、森隆浩氏、原嘉男氏及び赤石幹雄氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

執行役員

代表取締役会長	村田 和夫*
代表取締役社長	野澤 哲夫*
専務執行役員	田浦 義明*
常務執行役員	浦野 正美*
常務執行役員	藤倉 諭
常務執行役員	小野 誠一
上席執行役員	秋元 雅行
上席執行役員	須賀 和徳*
上席執行役員	伊藤 明彦*
上席執行役員	奈須野 匡
上席執行役員	田中 久義
上席執行役員	長田 博夫
上席執行役員	村田 智
執行役員	西山 正弘
執行役員	杉井 淳
執行役員	柳田 隆治

※ *は、取締役を兼任する者であります。

国内ネットワーク

事業所

- 苫小牧支店
- 札幌ライフ支店
- 岩手支店
- 秋田支店
- 大館支店
- 鶴岡支店
- 山形支店
- 福島支店
- 郡山支店
- 鉄鋼部第2課(茨城)
- 栃木支店
- 太田支店
- 埼玉支店
- 神奈川支店
- 神奈川コイルセンター
- 新潟支店
- 長岡支店
- 新潟流通センター
- 北越支店
- 富山支店
- 長野支店
- 浜松支店
- 名古屋支店
- 名古屋ライフ支店
- 名古屋鋼材センター
- 滋賀支店
- 大阪支店
- 大阪ライフ支店
- 関西鋼材センター
- 兵庫支店
- 岡山支店
- 岡山鋼材センター
- 福山支店
- 広島支店
- 広島ライフ支店
- 四国支店
- 北九州支店
- 九州支店
- 福岡ライフ支店
- 熊本支店

国内連結子会社

- エヌケーテック株式会社
- 日本洋食器株式会社
- メタルアクト株式会社
- 佐藤ケミグラス株式会社
- 大東鋼業株式会社
- 富士自動車興業株式会社

国内関連会社

- 関根鋼材株式会社
- 佐藤ゼネテック株式会社
- 湘南加工株式会社
- 阪神特殊鋼株式会社

海外ネットワーク

現地販売会社

- 香港佐藤商事有限公司(電子部材販売) [連結子会社]
- 上海佐商貿易有限公司(鉄鋼・非鉄金属・電子部材販売) [連結子会社]
- 上海佐商貿易有限公司 常州分公司(鉄鋼・非鉄金属販売/鋼材倉庫)
- SATO-SHOJI (THAILAND) CO.,LTD.(鉄鋼・電子部材販売) [連結子会社]
- SATO-SHOJI (VIETNAM) CO.,LTD.(非鉄金属・鉄鋼販売) [連結子会社]
- SATO-SHOJI (VIETNAM) CO.,LTD. HANOI BRANCH(鉄鋼・非鉄金属販売)
- SATO SHOJI ASIA PACIFIC PTE.LTD.(電子部材販売) [連結子会社]
- 広州佐商貿易有限公司(電子部材・鉄鋼販売) [連結子会社]
- 佐藤塑料玻璃(蘇州)有限公司(合成樹脂加工販売)
- 韓国佐藤商事株式会社(電子部材・鉄鋼販売)
- PS DEVICE & MATERIAL INC.(電子部材販売)
- SATO TECHNO SERVICE (THAILAND) CO.,LTD.(工作機械の販売、機械修理サービス)
- SATO-SHOJI (CAMBODIA) CO.,LTD.(非鉄金属販売)
- PT.SATO-SHOJI INDONESIA(鉄鋼・非鉄金属販売)
- SATO-SHOJI INDIA PRIVATE LIMITED(鉄鋼・非鉄金属販売)

合併製造会社

- YUASA SATO (THAILAND) CO.,LTD.(クランクシャフト製造) [持分法適用会社]
- 曾我部(蘇州)減速機製造有限公司(減速機製造)
- UCHIDA-SATO TECH (THAILAND) CO.,LTD.(鍛造用ダイホルダー製造)
- THAI KJK CO.,LTD.(自動車部品製造)
- POLYHOSE SATO SHOJI METAL WORKS PRIVATE LIMITED(鋼材加工、製缶加工業)



株式の状況 (2023年9月30日現在)

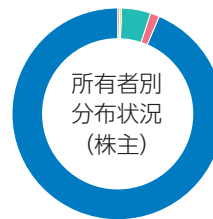
発行可能株式総数	87,000,000株
発行済株式の総数	21,799,050株
株主数	5,840名

大株主 (2023年9月30日現在)

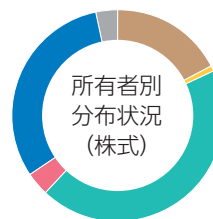
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,703	8.1
三神興業株式会社	1,590	7.5
いすゞ自動車株式会社	1,451	6.9
NOK株式会社	619	2.9
佐藤商事取引先持株会	560	2.7
株式会社りそな銀行	554	2.6
三原不動産株式会社	530	2.5
日本シイエムケイ株式会社	512	2.4
山陽特殊製鋼株式会社	499	2.4
マーシャン持株会	498	2.4

※当社は自己株式664千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。持株比率は自己株式(664千株)を控除して算出しております。

株式分布状況 (2023年9月30日現在)



金融機関	18名 (0.3%)
証券会社	24名 (0.4%)
その他国内法人	261名 (4.5%)
外国人	74名 (1.3%)
個人・その他	5,462名 (93.5%)
自己名義	1名 (0.0%)



金融機関	3,776千株 (17.3%)
証券会社	226千株 (1.0%)
その他国内法人	9,569千株 (43.9%)
外国人	755千株 (3.5%)
個人・その他	6,806千株 (31.2%)
自己名義	664千株 (3.1%)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月に開催します。	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
単元株式数	100株	
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
	公告掲載URL	
	https://www.satoshoji.co.jp/ja/ir/announce.html	

株主名簿管理人/ 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先	東京都府中市日鋼町1番地1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続き

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

佐藤商事株式会社

〒100-8285 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館16階
TEL:03-5218-5311 FAX:03-3286-1311



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。